

2021年9月30日

報道関係各位

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

都市活動から生まれるデータを3D都市モデル上で「一目瞭然」に可視化
大丸有 Area Management City INDEX (AMCI)
9月30日(木)に公開
～大丸有SDGs ACT5と連携しポイントアプリデータをビジュアライズし発信～

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり3団体^(*)の一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会(以下「大丸有協議会」)は、都市活動から生まれるデータを可視化するツール **Area Management City INDEX (以下、「AMCI」)** を9月30日(木)より下記のWEBサイトにて公開します。

* URL : <https://amci.tokyo-omy-w.jp/>

* 9月30日時点はβ版として公開。公開後も随時表現をブラッシュアップしていきます。

大丸有協議会を構成員とする大丸有スマートシティ推進コンソーシアムは、2020年3月に策定した「大丸有スマートシティビジョン・実行計画」に続き、「大丸有スマートシティ実行計画 詳細版」を本年6月に策定しました。詳細版では、2030年のSDGs達成に向けて3つの領域となる「スマートシティ・アイテム」、「スマートシティ・ベースメントプラン」、「エリアマネジメント^(*)・コアバリュー」などを新たに設定。本取組みは「スマートシティ・アイテム」のビジュアルコミュニケーションとしての役割を担っています。

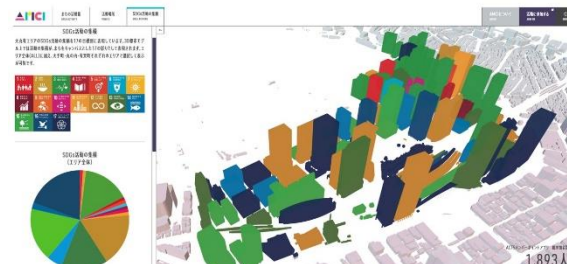
AMCIは、大手町・丸の内・有楽町地区(以下「大丸有地区」)で働くワーカーや街を訪れる人々、エリア内の企業が取り組んでいるSDGsアクション等の活動を、国土交通省「PLATEAU」が提供する3D都市モデルを用いて一目瞭然に可視化するビジュアルコミュニケーションツールです。 エリアマネジメントの取組・活動を視覚的に伝えることで、参加者の共感ある取組みとして活動を発展させ、その取組みや活動の効果を内外に伝えていく事を目的としています。解像度の高い都市活動データを用いた魅力的なビジュアライゼーションにより、エリアマネジメント活動への共感ある参加を促すとともに、将来的には様々なデータの重畳や3D上での活動・コミュニケーションなど効果的なシティプロモーションツールを目指してまいります。

2021年は、大丸有地区全体でSDGsアクションを展開する取組み「大丸有SDGs ACT5」と連携し、「ACT5メンバーポイントアプリ」を通してエリア内における様々なSDGs活動に対して付与されるエリア独自ポイントを集計。そのデータをビジュアライズして発信いたします。今後は都市活動データ・ツールの活用による持続的・発展的なまちづくりの実現を目指しエリアマネジメント活動全体に展開予定です。

なお、AMCIは、国土交通省の「スマートシティの社会実装に向けた3D都市モデルを用いた民間サービス実証調査」としてPwCアドバイザリー合同会社とパノラマティクス(旧ライゾマティクス・アーキテクチャー)が大丸有地区を舞台に開発しているものです。



3D都市モデルを活用したエリアマネジメントツール「AMCI」



大丸有エリア全体のSDGs活動の可視化

(*) 「一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会(大丸有協議会)、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会(リガーレ) 一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会(エコツヴェリア協会)」の3団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。

(*) エリアマネジメントとは、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取り組みのこと。快適で魅力に富む環境の創出や美しい街並みの形成、資産価値の保全・増進の他、ブランド力の形成、安全・安心な地域づくり、良好なコミュニティの形成、地域の伝統・文化の継承も含む。

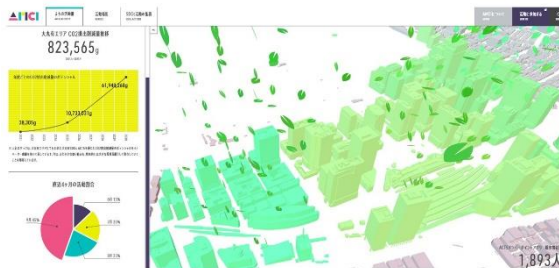
Area Management City INDEX (AMCI) について

Area Management City INDEX (AMCI) は、3D 都市モデルの持つ「一目瞭然」に「エリア」を可視化する特徴を活かしてエリアマネジメント活動のビジュアライゼーションを行うビジュアルコミュニケーションツールです。エリアマネジメントによるまちづくりにおける活動の状況や成果を俯瞰的・継続的に伝えることで企業や個人の参加促進を図ります。可視化することにより、共感ある取組みとして多様なステークホルダーの参加を促進。また、エリアマネジメントによるまちの価値向上の効果をわかりやすく伝えるシティプロモーションが可能となります。さらに、エリアマネジメントによるサステナブル・ディベロップメントの取組みを促進します。

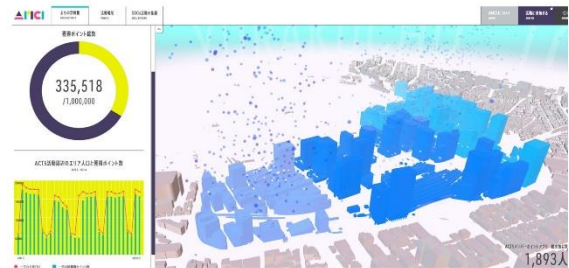
公開日：9月30日(木)

対象場所：東京都千代田区 大手町・丸の内・有楽町地区

URL：<https://amci.tokyo-omy-w.jp/>



大丸有エリアのCO2排出削減量の可視化



獲得したポイント数と人流データの可視化

大丸有 SDGs ACT 5 について

大丸有 SDGs ACT5 は、2030 年の SDGs 目標達成に向けて大丸有地区を起点に SDGs 達成に向けた活動を推進する取組みです。活動 2 年目となる今年は、5 月 10 日(月)から 11 月 30 日(火)の約 7 ヶ月間をコア期間として、「サステナブル・フード」「気候変動と資源循環」「WELL-BEING」「ダイバーシティ&インクルージョン」「コミュニケーション」の 5 つのテーマで多様なアクションを展開します。

URL：<https://act-5.jp/>



ACT5 メンバーポイントアプリについて

大丸有 SDGs ACT5 主催イベントへの参加をはじめ、大丸有地区で行われる SDGs アクションに独自のポイントを付与するアプリです。貯まったポイントは SDGs の達成に貢献する商品(資源の有効活用や地域創生につながるようなもの等)の交換等に利用可能です。SDGs アクションで貯まったポイントが SDGs の貢献に使われる—そうした好循環の仕組みづくりを目指しています。

URL：<https://mb.act-5.jp/>



国土交通省「PLATEAU」について

PLATEAU は、国土交通省が主導する日本全国の 3D 都市モデル整備・活用・オープンデータ化プロジェクトです。全国 56 都市の 3D 都市モデルが G 空間情報センターにオープン化され無償で利用できます。様々な都市活動データが 3D 都市モデルに統合され、都市計画立案の高度化や都市活動のシミュレーション、分析等を行うことが可能となります。

URL：<https://www.mlit.go.jp/plateau/>



「大丸有スマートシティビジョン・実行計画」とは

大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティ推進コンソーシアム（東京都・千代田区・大丸有協議会）が 2020 年 3 月 25 日に「大丸有スマートシティビジョン」を策定し、大丸有地区の日常・非日常におけるポテンシャルの拡大・レジリエンスの増強を宣言。

「大丸有スマートシティビジョン」では、大丸有地区の「まちづくりガイドライン」に示された「まちづくりの目標像」を実現するために、**ビジョンオリエンテッド**^(*3) のスマートシティ化を掲げています。スマートシティ化をまちづくりの目標を達成するための手段として捉え、新たな技術や都市のデータを活用して、都市機能のアップデートと都市空間のリ・デザインを実現していきます。

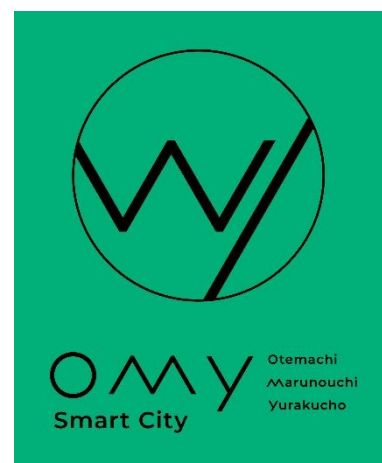
大丸有スマートシティは、「**データ利活用型エリアマネジメントモデル**」を確立し、他地区への横展開を目指します。また、デジタルと都市を高度に融合し、都市のリアルタイムデータを収集することで、データに基づいた意思決定を行う「**エリアマネジメントのデジタルトランスフォーメーション（DX）モデル**」も確立します。これにより都市の状況をリアルタイムに可視化・分析し、シミュレーションなどをすることが可能になり、まちの「創造性・快適性・効率性」が飛躍的に向上し、価値が増大します。

本取組は、2019 年 5 月に国土交通省による「スマートシティモデル事業」の先行プロジェクトに、2020 年 7 月に東京都の「スマート東京（東京版 Society5.0）」の実現に向けた先行実施エリアプロジェクト」に採択されています。

大丸有地区では、スマートシティの先導地区として、他地区を含めたスマートシティの発展に貢献するため、今後もさまざまな活動を実施します。本年 6 月 1 日に策定した「大丸有スマートシティ実行計画 詳細版」では、本年 3 月に更新された「大手町・丸の内・有楽町地区まちづくりガイドライン」により、2030 年を目標年次とする SDGs の達成等が明示された事を受けて、その実現に向けた 3 つの領域、「**スマートシティ・アイテム**」、「**スマートシティ・ベースメントプラン**」、「**エリアマネジメント・コアバリュー**」などを新たに設定しています。

U R L : <https://www.tokyo-omy-w.jp/>

(*3) 「ビジョンオリエンテッド」とは、ビジョンを最重要テーマと捉えるアプローチ



【ご参考】大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体について

大手町・丸の内・有楽町地区は、公民協調によるサステナブル・ディベロップメントを通じて、約 120ha のまち全域で「新しい価値」「魅力と賑わい」の創造に取り組んでいます。

大丸有まちづくり協議会を中心に公民でまちの将来像を合意し、リガールが賑わいや都市観光を促進、エコツェリア協会在社会課題の解決や企業連携によるビジネス創発を具体化しています。

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区
まちづくり協議会（大丸有まちづくり協議会）

再開発・街づくり・地権者合意形成

大丸有地区の地権者を会員とし、エリアの付加価値を高め、
東京の都心において持続的な発展に向けた取り組みを行っています。



一般社団法人 大丸有環境共生型
まちづくり推進協会（エコツェリア協会）

サステナビリティ / Research & Development / 環境共生

「経済」「環境」「社会」がバランスよく共存するまちを目指して、
大丸有地区に集う企業・事業者のコミュニティ形成や、
次世代への持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。

NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会
（リガール）

エリアマネジメント運営

道路を始めとした公的空間の活用や、交流・環境などの活動を通じて、
大丸有地区のブランド向上に取り組んでいます。

「Area Management City INDEX（AMCI）」に関する報道関係者からのお問い合わせ先

大手町・丸の内・有楽町地区街づくり PR 事務局

共同ピーアール(株) PR アカウント本部 9 部 担当：内山・前山・高橋

TEL：070-4303-7327 / 070-4303-7311 FAX：03-6260-6653

E-mail：tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp